

読者の広場

gakugei@nnn.co.jp

潮流

エナテクス常務取締役境港支社長



4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

「やまびこ」は意見などで700字以内。せ、応募された原稿用分には図書カードで680-6

郵送

4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

しも変わらず、公民館の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

4年前少しあとから、公博の習い事は習字をはじめ編み物、コーラスと一緒にいます。毎年の公民館祭にもどうにか作品を出品することが

磯江 公博

カウントパートの技術指導が主な活動内容だった。

現在、地球上で砂漠化が急速に拡大している。大陸地の約4分の1、日本面積の95倍がある。金陸地の約4分の1、日本面積の95倍が砂漠化の影響を受けている。ところで、砂漠化とは何か？ それ

料不足が生じるなどの予測がある。安定した食料を確保するには、農地面積を拡大するか、あるいは面積当たりの収量増加を図る必要がある。「言つは易く、行つは難し」だ。

毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

の1・5倍だが、人口が乾燥地で、食料を輸入する。毎月参加している経済俱楽部(CCC)のこの収益が初等教育や医療、インフラ整備など、この分野に回されていく。国土面積は日本

砂漠化防止へ新しい農業

は、人が生活し植物の生えていたところが、気候変動や人間の活動によって土地が荒れ、自然の営みが破壊して、不毛の土地になることだ。砂漠化は、人為的要因が87%といわれている。地球人口は増加し、測量とモロッコ農林省の大半が砂漠化した大地に、アトラス山脈の水源からかんがい用のパイプラインを引くプロジェクトだ。任期は2年、ルート選定のモロッコ青年海外協力隊としてボランティア活動に従事した。国

は、「常緑キリンソウによる砂漠化防止プロジェクト」が動きだした。鳥取大とアフリカボツワナのBUAN農業大学が共同で実証実験をすることになった。アフリカが40年ぶりとなる昨年、プロジェクトに同行した。ボツワナは政治や治入、水の確保も課題。

は230万人と少ない少雨量で、南部はほぼ砂漠だ。縁とは不思議なものだ。CCCの会長がス

クトだが、この事業を日本から持参したキリンソウの切苗を、3種類の土壤に詰めた苗床に移植した。40度を超える炎天下での準備は厳しい作業であった。(湯梨浜町)

戦後70年、世界は確実に平和に向かっていると信じているが、グローバル化の中で、地球環境や政治、経済、国家間格差等の問題で

地球の存在を脅かす事態が、次々と発生している。小さなプロジェクトだが、この事業を

きつかけとして、世界に目を向け、砂漠化や貧困格差が深刻なアフリカ諸国の取り組みに役立ちたいものだ。

西村メラルドグリーンに輝く波平家の山の姫はそばも焼きた石ほどできただと笑う井筒

